

護衛艦「くまの」命名・進水式
(岡山県玉野市)



護衛艦「くまの」

艦名の「くまの」は、「熊野川」に由来します。熊野川では、古来から舟運が盛んであり、流域で伐採される良質な木材や、農作物の運搬などに利用され地域の人々の暮らしを支えてきました。また、熊野川を含む熊野詣の参詣道「熊野古道」は、2004年に「紀伊山地の霊場と参詣道」として、世界遺産にも登録されています。

艦名は、海上自衛隊内での募集結果及び各種検討を踏まえ、防衛大臣が決定しました。

目次

- ◆ 平成30年度計画護衛艦、命名・進水式 艦名「くまの」
- ◆ 防衛装備品等の紹介
- ◆ 岸防衛大臣による岩国航空基地視察について
- ◆ 米海兵隊岩国航空基地のF-35Bへの機種更新について
- ◆ 2020(令和2)年版 防衛白書の地方公共団体等への説明
- ◆ 東広島市高機能消防指令センター完成披露会(広島県東広島市)
- ◆ 航空自衛隊美保基地におけるKC-46Aの配備計画について
- ◆ 令和2年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰
- ◆ 令和2年度 防衛大臣感謝状贈呈(松江市長及び前安来市長)
- ◆ 令和2年度 局長感謝状贈呈(前周防大島町長)
- ◆ 第74回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催
- ◆ インターンシップ(技術系:実務体験)について
- ◆ 陸上自衛隊原村演習場における米軍単独訓練の実施
- ◆ 陸上自衛隊・海上自衛隊 幹部自衛官御挨拶
- ◆ 中国四国防衛局 高松防衛事務所の御紹介
- ◆ 中国四国防衛局 職員日記
- ◆ 2020(令和2)年 中国四国防衛局主要事項一覧



平成30年度計画護衛艦、命名・進水式 艦名「くまの」

令和2年11月19日（木）、岡山県玉野市に所在する、三井E&S造船株式会社玉野艦船工場において、中国四国防衛局玉野防衛事務所が監督・検査を担当している平成30年度計画護衛艦2番艦の命名・進水式が行われました。

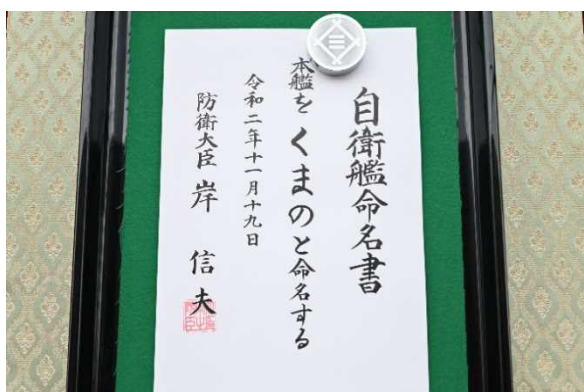
本式典は新型コロナウイルス感染症対策のため、招待者を制限する中、島田防衛事務次官、山村海上幕僚長、三島防衛技監、森田中国四国防衛局長、三原長崎防衛支局長、柿内玉野防衛事務所長以下事務所員そして三菱重工株式会社、三井E&S造船株式会社の関係者が出席し、粛々と行われました。

命名式



命名式では呉音楽隊が「君が代」を演奏したのち、防衛省代表の島田防衛事務次官が命名書を読み上げ、「くまの」と命名されました。

護衛艦は天象、気象、山岳、河川、地方の名を付与することが標準とされており、「くまの」は和歌山県、三重県の県境を流れる熊野川に由来しています。



引き続き、工場長が支綱（しこう）切断台に斧をセットし、工場長の合図で島田防衛事務次官が鎚を斧に向けて振り下ろし、支綱の切断を行いました。くす玉が割れ、呉音楽隊の奏でる軍艦マーチの中、「くまの」はゆっくりと進水しました。

進水式



「くまの」は令和4年3月頃就役予定となっています。中国四国防衛局玉野防衛事務所では引き続き監督・検査に万全を期して参ります。

（写真提供：海上幕僚監部）



防衛装備品等の紹介

防衛省は、自衛隊の任務遂行に必要な装備品等を民間企業から調達しており、中国四国防衛局では、管内の企業が製造等を行う防衛装備品についての監督・検査等に関する業務を行い、安全で高品質な装備品等の調達に向け取り組んでいます。

ここでは、広島市内で製造している防衛装備品の一部及び当局が実施する業務について紹介します。

1 防衛装備品の紹介

広島市内に所在する(株)日本製鋼所では、自衛隊向け各種砲（大砲、りゅう弾砲）からミサイル発射装置まで、多種の防衛装備品を製造しています。



陸上自衛隊

19式装輪自走155mmりゅう弾砲

出典：防衛装備庁HP

155mmりゅう弾砲FH70の後継となる装輪タイプの自走砲。平成30年度に開発が完了し、各種事態において迅速かつ機動的な運用が可能。



海上自衛隊

6.2口径5インチ砲

出典：海上自衛隊HP

「あたご」型、「まや」型、「あきづき」型及び「あさひ」型護衛艦に装備。

2 監督・検査業務

当局では、装備品の製造過程における各段階で、材料や部品などが所要の品質を満たし、作業工程等が適切に管理されているかを確認する監督業務を行っています。また、完成品等に対しても、要求する規格、品質、性能等が満たされているかを確認する検査業務を行っています。



製造過程の確認



砲身の内径(寸法)検査



岸防衛大臣による岩国航空基地視察について

令和2年10月24日、岸防衛大臣は就任後初めて海上自衛隊岩国航空基地及び米海兵隊岩国航空基地を視察しました。

岸大臣は、海上自衛隊岩国航空基地において儀仗隊による栄誉礼を受けた後、配備されている航空機などを視察しました。その後、約230名の隊員を前に訓示を行い激励しました。

また、米海兵隊岩国航空基地において、岩国航空基地司令官ルイス大佐から基地の概況説明を受け、日米の安全保障協力の重要性などについて意見交換を行い、会談後、基地内を視察しました。



栄誉礼・儀仗
(海上自衛隊岩国航空基地)



EP-3視察
(海上自衛隊岩国航空基地)



米海兵隊岩国航空基地視察



岩国航空基地司令官ランス・ルイス大佐との会談



米海兵隊岩国航空基地のF-35Bへの機種更新について

令和2年8月26日、防衛省鈴木地方協力局長及び森田中国四国防衛局長が山口県庁及び岩国市役所を訪れ、岩国飛行場の関係自治体（山口県、岩国市、周防大島町、和木町）の首長及び関係議会議員等に対し、米海兵隊岩国航空基地のFA-18（約12機）がF-35B（約16機）へ機種更新する概要について説明を行いました。

また、同日、当局鍋田企画部長から大竹市長に対し、また、佐々木企画部次長から広島県に対し、説明を行いました。

山口県知事等への説明（山口県庁）



岩国市長等への説明（岩国市役所）



2020(令和2)年版 防衛白書の地方公共団体等への説明

防衛白書は我が国の防衛政策に対する内外の理解を得るために毎年刊行しているもので、1970年(昭和45年)の発刊からちょうど50周年を迎えました。



令和2年版防衛白書

中国四国防衛局では、地域の皆様に防衛政策についてのご理解を深めていただく一助となるよう、自衛隊地方協力本部及び関係部隊等と連携し、中国四国地方9県の地方公共団体の知事や市長等に防衛白書の内容について説明を行っております。

防衛省HP「防衛白書」

※令和2年版防衛白書は、防衛省のHPからもご覧いただけます。



岩国市 福田市長(2.10.7)



徳島県 飯泉知事(2.10.20)



島根県 丸山知事(2.10.29)



岡山県 伊原木知事(2.11.27)



香川県 浜田知事(2.11.27)



東広島市高機能消防指令センター完成披露会

令和2年10月4日、東広島市で民生安定助成事業により整備した高機能消防指令センターの完成披露会が、高垣東広島市長、乗越東広島市議会議長、森田中国四国防衛局長等の列席のもと行われました。



高垣 東広島市長による挨拶



事業報告

東広島市消防局は、米軍川上弾薬庫及び陸上自衛隊原村演習場が所在する同市を管轄していますが、防衛施設の車両及び航空機の往来に伴う事故に対する安全、安心の一層の向上を図る必要があります。

また、近年では、平成30年7月の豪雨など、自然災害が大規模化していることから、これらの事故や災害時の活動をより効率的に行うため、同施設を整備することで市民の生命、身体及び財産を守る消防体制が充実強化されました。



高機能消防指令センター見学



高機能消防指令センターの機能説明

本施設は、総事業費約5.7億円を投じて新たに映像伝送システムを設置することで、災害現場の映像を災害対策本部と共有することや、河川の氾濫や土砂災害等による道路通行止め情報を現場車両からリアルタイムで指令センターへ共有することが可能となる等、指令システムの情報処理能力が向上し、大規模災害時の消防、救助活動がより迅速で確実に became.

当局としては、今後とも防衛施設周辺の市民の方々の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んでまいります。

航空自衛隊美保基地におけるKC-46Aの配備計画について

令和2年9月3日、中国四国防衛局鍋田企画部長が鳥取県庁を訪れ、鳥取県に対し、航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機（KC-46A）の配備について、再協議の申し入れを行いました。

平成28年9月、当局から鳥取県知事に対し協議の申し入れを行ったところ、平成29年3月、鳥取県知事から、KC-46Aは当時開発中の機種であったため、実配備前に十分な時間的余裕をもって配備計画について協議を行うよう回答を頂いたことから、改めて協議を申し入れたものです。

鳥取県担当部長からは、「詳細な計画を説明してもらった上で地元にも丁寧に説明してもらいたい」等のご発言があり、これに対し、鍋田部長から「自治体の要望に応じて、十分に詳細な説明をさせていただきたい」等と述べました。更に、同月15日以降、境港市議会、米子市議会、鳥取県議会に対し説明を行い、また、同月18日、境港市境夢みなとターミナルにて、境港市における住民説明会を実施しました。

KC-46Aの配備について、当局としては、地元のご理解、ご協力が得られるよう、引き続き、丁寧な説明に努めてまいります。



鳥取県に対する再協議申し入れ



境港市住民説明会

令和2年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰

長年の勤務にわたる功績をたたえ、それぞれ重要な職務に精励された98名の方々が、この度、在日米軍従業員永年勤続者表彰の対象となりました。

令和2年10月に予定されていた「在日米軍従業員永年勤続者表彰式」については、新型コロナウイルス感染症の市中感染の状況を鑑み、在日米軍従業員及び参列者の健康と安全を第一に考えた結果、式典は中止とさせていただきましたが、対象となりました従業員の方々には、各軍の現場の監督者等から、日頃の感謝の気持ちとともに、長年にわたる功績を称え、表彰状と記念品の授与が行われました。

当局管内では、米陸軍第10支援群弾薬廠（呉市）及び米海兵隊岩国航空基地（岩国市）において、約2000名の在日米軍従業員の方々が、日々、在日米軍施設の円滑な運営に寄与されています。今後も、日米両国の架け橋としてより一層御活躍いただくことを祈念するとともに、今回の受賞について心から敬意を表します。

受賞者数 (単位：人)

区分	呉地区	岩国地区	合計
10年勤続者	5	41	46
20年勤続者	6	6	12
30年勤続者	8	28	36
40年勤続者	0	4	4
合計	19	79	98



在日米陸軍第10支援群
(10年勤続者)



在日米陸軍呉輸送隊
(30年勤続者)

令和2年度 防衛大臣感謝状贈呈（松江市長及び前安来市長）

令和2年11月20日、当局局長は、松浦正敬松江市長及び近藤宏樹前安来市長に対し、防衛大臣感謝状の贈呈を行いました。

防衛大臣感謝状は、自衛隊に協力し、又は自衛隊を援助して、その功労が著しいと認められる隊員以外の者又は団体に対し、感謝の意を表すため贈呈されるものであり、例年、自衛隊記念日記念行事の一環として、東京都内において贈呈式を執り行っていました。本年は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、個別に贈呈することとなりました。

松浦市長及び近藤前市長は、航空自衛隊美保基地及び陸上自衛隊美保分屯地における輸送機C-2、輸送ヘリコプターCH-47、空中給油・輸送機KC-46Aの配備に関し地元住民の意見を取りまとめ、市長として、これらの配備の受入れを了承されました。また、これまで、防衛省の施策の重要性に深い御理解を頂き、松浦市長におかれては高尾山分屯基地を含め、両氏が防衛施設の安定使用と防衛基盤の育成に多大な貢献をされてきたことから、このたび、防衛大臣から感謝の意を表したものです。



松浦正敬松江市長に対する
防衛大臣感謝状贈呈



近藤宏樹前安来市長に対する
防衛大臣感謝状贈呈

令和2年度 局長感謝状贈呈（前周防大島町長）

令和2年10月27日、当局局長は椎木巧周防大島町長(当時)に対し感謝状を贈呈しました。椎木町長は、平成20年11月から本年11月の任期満了までの間、12年間にわたり、「再編実施のための日米ロードマップ」において合意された空中給油機KC-130部隊及び空母艦載機部隊の岩国基地への移駐について御理解を頂き、地元の意見集約に尽力されるなど、我が国の防衛政策に対し深い御理解を頂き、岩国飛行場の安定的な運用に多大な貢献をされたことから、このたび御退任にあたり感謝の意を表したものです。

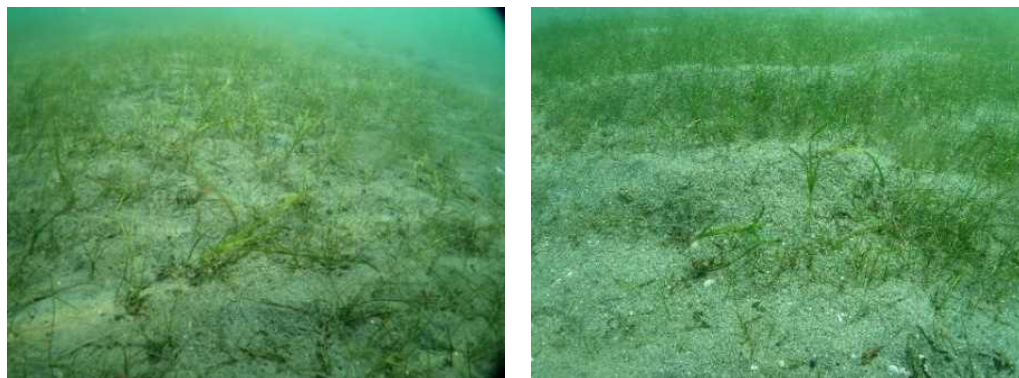




第74回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催

令和2年9月、第74回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会を開催しました（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員とは書面での協議による開催としました）。本委員会は岩国飛行場滑走路移設事業に伴う藻場・干潟の回復措置の検討に必要な指導や助言を学識経験者から得るために設置しています。

第74回の委員会では、令和2年1月から4月までの周辺藻場・干潟におけるアマモ類の分布状況や生育基盤面積の回復状況及び干潟の回復状況について、各委員に調査結果を報告し、藻場・干潟の回復状況に特段の問題がない旨の評価及び必要な助言を頂くとともに、今後の調査方針等が示されました。



アマモ・コアマモの生育状況



インターンシップ（技術系：実務体験）について

地方防衛局においては、宿舎や庁舎などの一般的な施設だけでなく、飛行場や港湾施設、レーダー施設といった自衛隊や在日米軍の活動拠点として使用する防衛施設の整備を行っています。

本年度、独立行政法人国立高等専門学校機構呉工業高等専門学校が、授業の一環として現場等での技術の実践を通じた理論学習の重要性、協調性、指導能力などを身につけることを目的としたインターンシップ（実務体験）を、令和2年7月から同年8月までの間当局で実施しました。

具体的には、設計業務や建設工事に係る情報公開業務や現場での調査・確認などを関係部署の協力を得ながら体験しました。

研修受講生からは、この貴重な経験を今後の学生生活、就職活動に活かしたいとの意見があり、当局としてもこの取組は今後も継続していきたいと考えています。

（設計業務）



（現地での測量）



（設計業務の現場確認）



（通常マスクを着用しておりますが、写真撮影のためマスクは外しております）



陸上自衛隊原村演習場における米軍単独訓練の実施

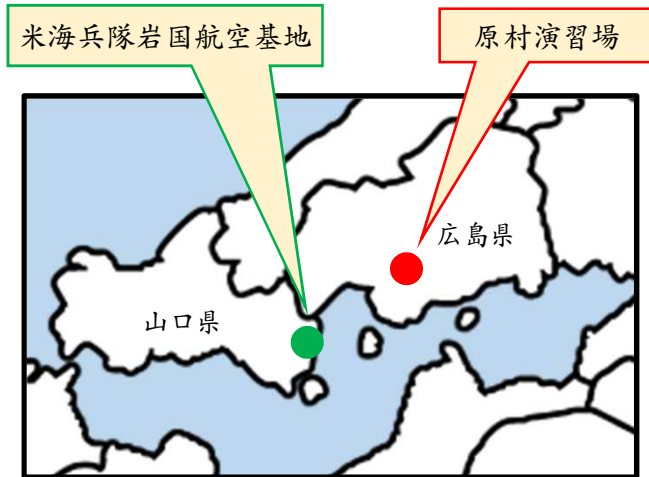
令和2年10月18日から24日までの7日間、広島県東広島市に所在する陸上自衛隊原村演習場において、在日米海兵隊岩国航空基地所属の後方支援部隊による単独訓練が実施されました。

本訓練は、平成3年8月に初めて実施されて以降、今回で47回目になり、演習場区域における一般訓練及び基本射場における小火器射撃訓練がそれぞれ実施されました。

本訓練実施にあたり、当局はこれまでと同様、訓練前においては、訓練実施期間及び内容等を関係自治体等へ通知し、また、訓練期間中においては、当局職員を連絡員として現地に配置し、訓練状況を把握するなどの対応を行いました。

訓練期間中、当局の森田局長が演習場を訪問し、訓練部隊長のゴットフリー中佐を表敬し、部隊長の案内の下、射撃訓練の状況を視察しました。訓練部隊においても、米軍車両の移動や訓練実施にあたっての最大限の安全確保等を行い、訓練を無事に終えました。

また、訓練終了後には、演習場周辺の一般道路を汚さないよう、使用車両の洗車等を徹底して行い、細心の注意を払い、所属部隊へ戻りました。



訓練の様子



訓練の様子



森田局長による訓練視察



(写真提供：米海兵隊)



陸上自衛隊 第13旅団長 ^{こだま やすゆき} 兒玉 恭幸 陸将補 御挨拶



令和2年8月25日付で、第13代第13旅団長に着任しました兒玉将補です。陸上自衛隊の前身である警察予備隊が新設された1950年に海田市駐屯地も開設され今年で70周年。歴史と伝統のある海田市駐屯地に着任し身の引き締まる思いです。

さて、私が着任するひと月前の7月23日、米国ポンペオ國務長官が「共産主義の中国と自由世界の未来」と題し、中国共産党の一方独裁体制に対し強硬姿勢を前面に出した衝撃的な演説を行いました。米中新冷戦と言われ始めて数年が経ちますが、その溝は深まるばかりです。この広報誌がお手元に届くころには米大統領選挙も決着していると思いますが、米国内では右派と左派に大きく分断された情勢不安定な状況が続いています。

13旅団には約4000名の隊員がおりますが、中国地方750万人の生命・財産を我々の力のみで護ることは困難です。各自治体・警察・消防・海保をはじめ電気・水道・ガス・公共交通機関などのライフラインを担う機関はもちろんのこと地元の方々と心をつなげて連携することが不可欠です。これまで以上に地域に根差した活動を行う所存ですので更なるご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。



陸上自衛隊 第14旅団長 ^{えんどう まこと} 遠藤 充 陸将補 御挨拶



この度、第14旅団長に着任しました遠藤陸将補です。

四国4県の防衛警備及び災害派遣並びに全国各地で生起する様々な事態に対し機動的に運用される第14旅団の指揮を任されたことを心から光栄に思うとともに、その重責に身の引き締まる思いです。

現代戦は、従来戦の領域に加え、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の出現により、ハイブリット戦という新たな戦いを招来し、平時でも有事でもないいわゆる「グレーゾーン」の存在を際立たせています。この状況下、我々が任務に就く際に我々に与えられる時間は十分ではないと認識し、「即動」できる能力を保持することが重要であると共に、それが機動旅団たる第14旅団の価値であると認識しています。

最後に、本誌読者の皆様のご健勝を祈念致しますと共に、第14旅団の活動に対するご理解とご支援をお願いして着任のご挨拶と致します。





海上自衛隊 呉地方総監部 幕僚長 ^{やまぐち のぶひさ} 山口 宜久 海将補 御挨拶



令和2年8月25日に着任しました。皆様には平素から呉地方総監部に対する御支援、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

呉地方隊は、東は国内第2の政経中枢でもある阪神地区や和歌山から、中国、四国、そして西は九州の大分、宮崎に至り、海域を含む広大な警備区が割り当てられております。この地域には、艦船等の建造、修理をお願いする大小多くの造船所があります。特に、潜水艦の建造や大規模修理ができる造船所は、呉警備区内にしかありません。その他に、救難飛行艇や砲身、弾薬等の製造メーカーも存在し、海上自衛隊にとって、大変重要な地域だといえます。

呉基地に所在する艦艇部隊は、海上自衛隊の中で最も隻数が多く、護衛艦だけでなく、潜水艦や輸送艦など種類も多岐にわたるという特徴があります。それらの支援も呉地方隊の重要な任務です。

そのような中、微力ではありますが、重責を全うすべく呉警備区の海上防衛と後方支援態勢の維持強化に尽力してまいり所存です。倍旧の御指導御鞭撻を賜りますようお願いいたします。



呉地方総監部第1庁舎（日本遺産）



呉地方総監部イメージキャラクター



多種の艦艇が停泊する呉港



海上自衛隊 第4護衛隊群司令 ^{ひらた としゆき} 平田 利幸 海将補 御挨拶



令和2年8月25日付で、海上自衛隊第4護衛隊群司令を拝命した平田です。この場をお借りして、ご挨拶申し上げます。

当群は、広島県呉市に所在する第4護衛隊の護衛艦「いなづま」「さみだれ」「さぎなみ」「かが」並びに長崎県佐世保市に所在する第8護衛隊の「きりさめ」「すずつき」「しまかぜ」「ちょうかい」の計8隻の護衛艦により編成される護衛隊群です。

我が国を取り巻く安全保障環境は一層の厳しさを増し、海上自衛隊に与えられる任務は、ますます多様化するとともに、我々が果たすべき役割はこれまで以上に拡大しつつあります。

このような情勢の下、国民の皆様から信頼され、あらゆる任務を的確に遂行し得る精強な護衛隊群をつくりあげるため、「明るく強く 至誠を尽くす」を指針として掲げ、職務に邁進する所存でありますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



海上自衛隊第4護衛隊群 HPには、こちらからのQRコードでご覧頂けます。





中国四国防衛局 高松防衛事務所のご紹介



高松防衛事務所は香川県高松市にある高松サンポート合同庁舎南館内に所在しており、香川県、徳島県、愛媛県、高知県を管轄しています。

主要な業務として、自衛隊の施設の取得・管理、防衛施設の設置・運用に伴って生じる障害の防止・軽減、自衛隊の行為による被害又は損害の補償、建設工事の実施等に係る連絡、交渉、調査及び資料の収集、並びに防衛政策全般についての地方公共団体及び地域住民の理解及び協力を確保するための連絡調整を行っています。

主要な防衛施設としては、香川県に「善通寺駐屯地（善通寺市）」「国分台演習場（高松市・坂出市）」、徳島県に「徳島駐屯地（阿南市）」「徳島航空基地（松茂町）」「小松島航空基地（小松島市）」、愛媛県に「松山駐屯地（松山市・東温市）」高知県に「高知駐屯地（香南市）」「高知演習場（香南市）」「土佐清水分屯基地（土佐清水市）」が所在しております。所長をはじめ所員一同、管轄区域内の関係行政機関等から信頼されるため地元の食文化等にも触れながら業務を行っています。

香川県と言えば



讃岐うどん



栗林公園

徳島県と言えば



徳島ラーメン



鳴門の渦潮

愛媛県と言えば



宇和島鯛めし



松山城

高知県と言えば



鯉のたたき



坂本龍馬像

写真：Yahoo引用



中国四国防衛局 職員日記（高松防衛事務所）



（高松防衛事務所 中川 貴文）

私は本年4月に高松防衛事務所に配属になりました。自衛隊、米軍の訓練に関わる地元との調整、防衛施設関連の発生材の取り扱い、職員旅費の支払手続き等の業務を担当しています。

中国四国防衛局が実施する業務全体について、総合的な知識が求められる部署と言えます。慣れないこともあり大変ですが、総務部、企画部、調達部と多様な分野に携わることができ業務にやりがいを感じます。

当事務所の管轄する四国4県においては、防衛施設と長くかかわりがある地域が多く、住民の皆様のご理解とご協力によって施設が維持されてきたという歴史を日々実感します。また、南海トラフ地震等の災害対策についても、行政、住民ともに関心が高く、熱意と真剣さをもって取り組んでおられることが、実際に防災訓練に参加してみても感じられました。

住民の皆様に対し、自衛隊、米軍の訓練などについてご理解いただけるよう丁寧に対応してまいりますので、よろしくお祈りします。休日は遍路道を旅して四国の自然と文化にふれるなど、充実した日々を過ごしております。



中国四国防衛局 職員日記 (企画部)

平成6年に2年間勤務した教科書出版社を退職し、会計課に採用していただき早30年近くたちました。官民の文化の相違に驚愕したのも遠い昔のことになりました。以来、無事是名馬と言いつけさせ勤務致しております。福岡の某有名高に「先ず登校、次に礼節」という標語がありました。社会人も同様かと思料します。

現在、施設取得課で取得業務及び貸借業務等を担当しております。特に取得業務は、所有者の大切な財産をお譲りいただく重さと調整事が多岐に亘ることで、私のみならず周囲の白髪も増やしております。お陰様で年相応に老けました。とはいうものの、この年齢になれば無事自体が感謝すべきと自分を騙しております。



(施設取得課 國永 英樹)



中国四国防衛局 報道官のぶら散歩



今夜の晩御飯はどうしようと悩んでいたところ、テレビからは、紅葉の季節ということもあり、ライトアップされた庭園が報道されていました。場所は当局（広島市内）から歩いて5分程度のところにある「縮景園」です。期間限定のライトアップということもあり、少し脚を向けて散策してきました。

庭園に入るには、併設している広島県立美術館において、整理券の配布を受け取り、人数制限の上、順次案内され庭園に入りました。ソーシャルディスタンスを保ちつつも、来園者は皆、色づく木々にカメラを向け、「綺麗だね」とマスク越しの笑顔がなんとも心地よい夜になりました。

今回訪れた「縮景園」は、広島藩主浅野家の家老により藩主の別邸として設けられたそうです。戦前から市民に親しまれたとのことでしたが、広島に投下された原爆により、数多くの被災者が本庭園にも避難し、治療もままならぬまま息絶え、その遺体の多くは園内に埋葬されたそうです。

広島の悲しい歴史、また、水面に映る色鮮やかな景色に触れ、池の魚が飛び跳ね描く幾重もの水紋と、広島街のど真ん中で静寂の空間で静かに燃えさかる紅葉を眺め、一人、感慨深い思いを抱きました。その後は、毎週立ち寄ってる自宅近所のお好み焼きを食べに行きました。



2020年（令和2）年 中国四国防衛局主要事項一覽

2020. 1. 1. ～ 6. 30.

月	米軍関係	自衛隊関係	採用関係	その他
1月	8日 二市二町岩国基地問題 に関する議員連盟総会	15日 音響測定艦「あき」 命名・進水式		11日 日米交流書き初め会 (和木町)
2月	岩国飛行場における米軍 再編工事の完了	21日 第6回艦艇装備研究所岩 国海洋環境試験評価サ テライト(仮称)整備協議 会	2月 学校訪問(業務説明会) 	8日 IWAKUNI日米交流合同コ ンサート(岩国市)
3月	7日 空自E-2D2機岩国飛行場 に陸揚げ 8日～14日 原村演習場における米軍 単独訓練(岩国) 8日～21日 日本原演習場における米 軍単独訓練(岩国)	 提供：米海兵隊		7日 呉市消防庁舎等完成 (呉市) 
4月				24日 日の出公園開園 (岩国市) 
5月	8日 陸自オスプレイ2機岩国 飛行場に陸揚げ 24～27日 空母着艦資格取得訓練 (CQ)実施(岩国)			
6月	10～11日 空母着艦資格取得訓練 (CQ)実施(2回目) (岩国) 20日 河野前防衛大臣が岩国 市を訪問し、関係自治体 首長等と意見交換 	15日 防衛省がイージス・アショ ア配備に関するプロセス 停止を発表 19日 河野前防衛大臣が山口 県庁を訪問しイージス・ア ショア配備に関するプロ セス停止を説明 25日 防衛省がイージス・アショ アの配備断念を公表		



2020年(令和2)年 中国四国防衛局主要事項一覽

2020. 7. 1. ~11. 30.

月	米軍関係	自衛隊関係	採用関係	その他
7月	<p>3日 岩国基地問題議員連盟連絡協議会総会(岩国市)</p> 	<p>31日 宇宙作戦隊新編等について山陽小野田市議会へ説明</p> <p>31日 イージス・アショア配備に関するむつみ現地連絡所閉所</p>	 <p>7月~8月 業務説明会及び現場説明会(大卒程度試験受験者向け)</p>	<p>2日 前境港市長(当時)に対し局長感謝状贈呈</p> <p>14日 令和2年版防衛白書刊行</p> 
8月	<p>7日 小型無人機等飛行禁止法に基づき岩国飛行場(米軍・自衛隊)が指定される</p> <p>12日~ 高知県沖における米軍機墜落事故に関する再調査結果について関係自治体へ説明</p> <p>26日 F-35Bへの機種更新の概要について関係自治体へ説明(岩国)</p> 		<p>8月 防衛省専門職試験第1次試験</p>	
9月	<p>24日 F-35Bへの機種更新について岩国市議会全員協議会へ説明(岩国)</p> <p>28日 F-35Bへの機種更新について関係自治体へ追加説明(岩国)</p>	<p>4日 防衛省がイージス・アショアに係る経緯について公表</p> <p>3、15~18日 空自美保基地における空中給油・輸送機(KC-46A)の配備計画について関係自治体等へ説明</p>	<p>9月~10月 官庁訪問(大卒程度試験1次合格者向け)</p> <p>業務説明会(高卒者試験受験者向け)</p>	<p>1日 岩国市立東小中学校開校式(岩国市)</p> 
10月	 <p>18日~24日 原村演習場における米軍単独訓練(岩国)</p> <p>24日 岸防衛大臣が海自岩国航空基地及び米海兵隊岩国航空基地を視察</p> <p>26~30日 日米共同警護出動訓練(岩国)</p>		<p>10月~随時 採用面接(大卒程度試験最終合格者向け)</p> <p>官庁訪問(高卒者試験1次合格者向け)</p> 	<p>4日 高機能消防司令センター完成披露会(東広島市)</p> <p>11日 弓浜コミュニティ広場クラブハウス完成式典(米子市)</p> <p>27日 前周防大島町(当時)に対し局長感謝状贈呈</p>
11月		<p>19日 護衛艦「くまの」命名・進水式</p>	<p>11月随時 採用面接(高卒者試験最終合格者向け)</p>	<p>20日 松江市長及び前安来市長に対し防衛大臣感謝状贈呈</p>